

視聴分析エンジンに株式会社ニューフォリアの「Vision Eye®」を採用
カメラセンシング技術とAIで視聴者の属性を解析し、デジタルサイネージの効率的・効果的な運用を支援

デジタルサイネージの視聴分析ソリューション※¹を提供開始



属性解析および利用シーンのイメージ

シャープマーケティングジャパン株式会社（本社：大阪府八尾市、代表取締役社長：中山 藤一）は、デジタルサイネージの視聴分析ソリューションを、本年6月16日より提供開始します。

視聴分析用のエンジンには、株式会社ニューフォリア（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：多田 周平）の「Vision Eye」を採用しています。ディスプレイに取り付けたカメラ※²が取得した情報から、クラウド上のAIが「通行者数（トラフィック数）」およびサイネージの「視聴者数（オーディエンス数）」を計測・集計※³。また、視聴者の性別や年齢を解析※³します。集計および解析結果は、設置場所別や時間帯別、コンテンツ別に表やグラフで可視化してフィードバック。視聴者数の多いサイネージやコンテンツのランキングも提供します。本ソリューションは、新規設置はもちろん、既設※⁴のデジタルサイネージでもご利用いただけます。

本ソリューションにより、通行者数や視聴者数の多い設置場所や時間帯などを定量的に把握できるうえ、各コンテンツの訴求効果も検証でき、デジタルサイネージの運用の効率化や情報発信力の強化に貢献します。

なお、6月15日（水）から17日（金）まで幕張メッセ（千葉県美浜区）で開催される展示会「デジタルサイネージジャパン2022」のニューフォリア社ブース（ホール6 ブース番号：6M16）にて本ソリューションを紹介します。

サービス名	価 格	発 売 日
デジタルサイネージ視聴分析ソリューション	オープン	2022年6月16日

■ 主な特長

1. ディスプレイに取り付けたカメラが取得した情報から、クラウド上のAIが通行者数とサイネージの視聴者数を計測・集計。視聴者の性別や年齢も解析
2. 集計および解析結果は、設置場所別や時間帯別、コンテンツ別に表やグラフで可視化してフィードバック。視聴者数の多いサイネージやコンテンツのランキングも提供
3. 新規設置はもちろん、既設のサイネージにも導入可能

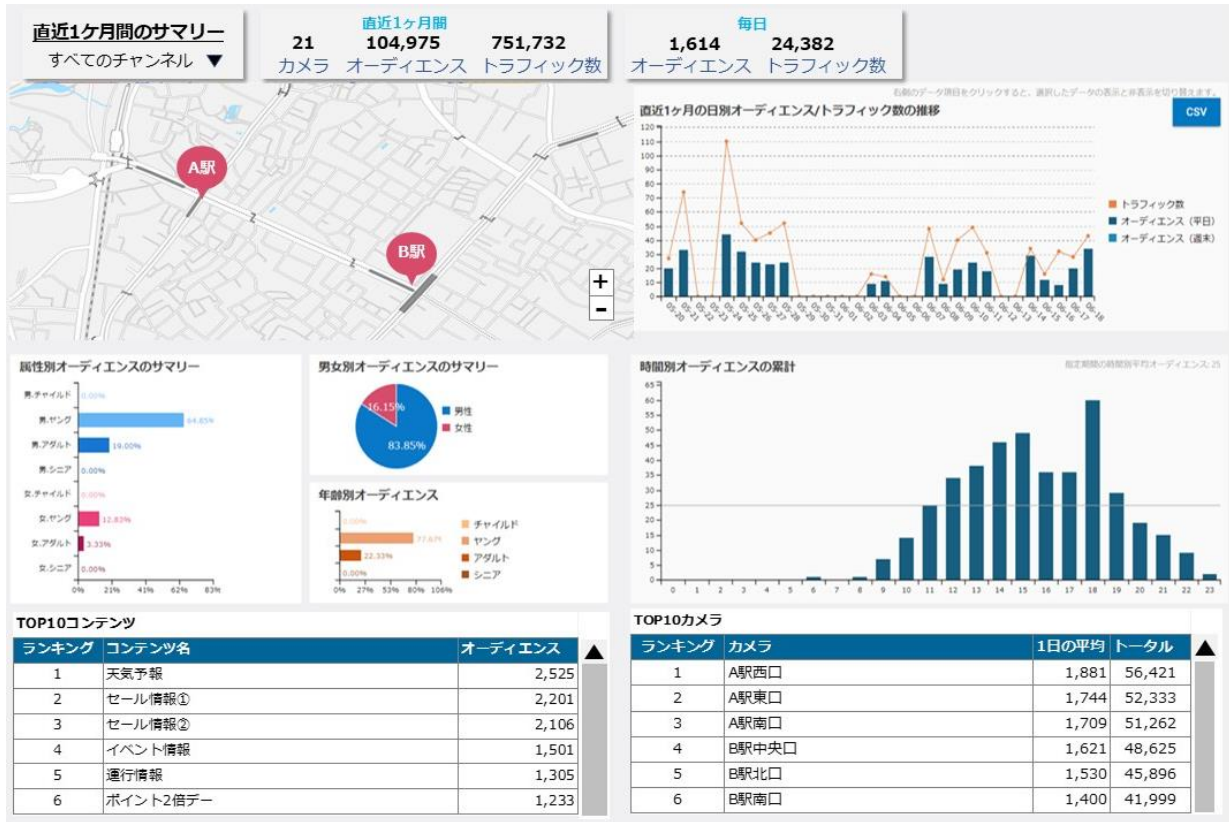
- ※¹ シャープ株式会社およびシャープマーケティングジャパン株式会社が提供するデジタルサイネージ配信ソリューション「e-Signage S クラウドサービス」（https://smj.jp.sharp/bs/digital_signage/e_signage_cloud.html）のオプションサービスです。
- ※² オプション（別売）です。
- ※³ AIによる集計、解析です。実際の属性とは異なる場合があります。属性解析の際、顔画像のデータを一時的に取得しますが、解析後、即時削除します。
- ※⁴ 「e-Signage S クラウドサービス」へのご契約が必要です。ネットワークや設置場所の環境によってはご利用いただけない場合があります。
- カメラ画像の利活用においては、撮影実施前の告知など、配慮すべき事項の行政指針が示されています。詳細は経済産業省・総務省策定の「カメラ画像利活用ガイドブック（<https://www.meti.go.jp/press/2021/03/20220330001/20220330001-1.pdf>）」をご覧ください。
- 「Vision Eye」は株式会社ニューフォリアの登録商標です。

【 ホームページ 】 <https://corporate.jp.sharp/>（画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>）

【 本 社 】 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

【 お客様お問い合わせ先 】 シャープマーケティングジャパン株式会社 ビジネスソリューション社
デジタルイメージング営業推進部 03-5446-8151

■ デジタルサイネージ管理者画面（イメージ）



本ソリューションに関する情報は、以下のウェブサイトでもご覧いただけます。
https://smj.jp.sharp/bs/digital_signage/vision_eye.html